

第 1 回職業能力開発審議会における第 11 次高知県職業能力開発計画素案  
に対する主な意見とその対応について

項目	意見	対応(案)
【ニート、引きこもり】	1. 労働力人口が減少する中、若者の力が必要となってくる。ニートや引きこもりの若い方に対する支援について充実が必要。(大西委員)	○第 3 部「2 全員参加型社会の実現に向けた職業能力開発の推進」の「(3)若者の職業能力開発」における「③ニート、高校中退者等の支援」に関する取組を確実に進めていく。(P18) (計画素案から記載内容の変更なし)
【介護】	2. 介護をしている方に対する支援が必要ではないか。(楠瀬委員)	○第 3 部「2 全員参加型社会の実現に向けた職業能力開発の推進」に「育児や介護と仕事の両立に対する支援」を追加。(P21)
【DX】	3. 自動車業界は業績的には新型コロナウイルス感染症の影響を受けていないものの、研修や会議のオンライン化については進んでいる。そういったことについても、検討が必要。(臼井委員)	○第 3 部「3 産業構造・社会環境の変化を踏まえた職業能力開発の推進」の「(1)オンラインや ICT を活用した職業訓練の実施」に記載の取組を推進。(P22) (計画素案から記載内容の変更なし)
【建設】	4. 建設業においても人材育成に関する様々な取組を行っている。引き続き、職業能力開発施策に取り組むことは重要。(川上委員)	○第 3 部「5 本県産業を担う人材の育成」に「建設分野」を追加。(P28)
【奨学金制度】	5. 看護師や助産師を目指す学生に対する奨学金制度について、中山間地域の指定された医療機関で就業することに対する不安により、奨学金は返還するから、なかったことにしてほしいといった事例が毎年出てくる。 新人、新任の訪問看護師に対する研修を行うとのことだが、奨学金返還免除を活用している学生に対しても、研修会や情報交換により不安を払拭するような取組について検討していただきたい。(二宮委員)	○雇用労働政策課が高知学園短期大学を訪問し、詳細について聞き取りを行い、同短大と医療政策課の協議に繋げた。 (計画素案から記載内容の変更なし)